青森東高校渉外部

NEWSLETTER

第２号
文責：安江道子
令和４年７月６日

第７１回

東北地区高等学校ＰＴＡ連合会盛岡大会

テーマ「えん」

～応(こた)えよう、援(たす)けよう、団(あつ)まろう！　子どもたちの未来のために～

７月１日（金）、盛岡市民文化ホールにおいて、東北地区高等学校ＰＴＡ連合会盛岡大会が開催されました。本校から、外﨑浩司ＰＴＡ副会長（２年次部会長）とともに参加してきました。

開催趣旨に『大会テーマである「えん」は、人を結ぶ「縁」、人を援ける「援」、そして人々が集う「円」を意味する。そこに集う私たちは、子どもたちの希望に応え、学びを援け、共に団まり支えていく、まさに「応援団」である。･･･私たちは、大会を通じて様々な課題や新たな時代への認識を共有し、子どもたちにも学び続ける背中を見せたいと思う。今この思いを胸に、未来にはばたく子どもたちへのエールを、ともに贈ろうではありませんか』とありました。

このテーマに合わせ、盛岡第二高校応援委員会、花巻北高校と不来方高校の応援団の演舞が映像で紹介されました。ステージでは、盛岡第二高校なぎなた部による演舞、盛岡第一高校吹奏楽部による演奏、盛岡商業高校のさんさ踊り実行委員会による踊りが披露されました。高校生たちは、コロナ禍で活動が制限された中での苦労や今回の発表の機会を与えられたことに感謝の気持ちを述べていました。

研究協議では、「新しい生活様式における持続可能なＰＴＡ活動とは」をテーマに各県代表者によるパネルディスカッションが行われました。広報誌の充実、学校行事への協力のしかたを変更、地域とつながる、ＩＣＴ活用などの工夫が発表されました。また、学校の情報が入ってこない（子どもが学校からのお知らせを見せない）、やはり懇親会は必要との声も聞かれました。「今の高校生は校歌を歌えるのか？」という声もありましたが、本校生徒は大丈夫ですからご安心ください。毎朝ホームルーム開始の振鈴前に校歌が流れていますので。

記念講演の講師は、株式会社南部美人代表取締役社長（５代目蔵元）・東京農業大学客員教授　久慈浩介　氏でした。「南部美人の挑戦」～地域を照らす光になるために～と題し、90 分間熱く語ってくださいました。日本酒の海外進出を先導しながら、清酒鑑評会での数々の受賞歴があり、世界初「ヴィーガン」の国際認定を日本酒、リキュールで取得、遺伝子組み換えをしていない証明「NON GMO」の国際認定を日本酒で取得されました。また、コロナ禍で消毒用アルコール不足に悩む医療的ケア児とその家族のために高濃度アルコールを製造されました。ご自身にしかできないことに対して使命感を持ち、社会貢献を続けておられる姿勢とバイタリティに感銘を受けました。

760 名の参加者がテーマである「えん」の広がりを実感した大会となりました。来年、全国大会は宮城県、東北大会は福島県で開催されます。